

第49回 中国四国リハビリテーション 医学研究会

第44回 日本リハビリテーション 医学会 中国・四国地方会

プログラム・抄録集

会期 2019年 **12月1日** 

会場 **高知大学医学部**

会長 **和田 恵美子**

近森リハビリテーション病院 院長

第49回中国四国リハビリテーション医学研究会
第44回日本リハビリテーション医学会 中国・四国地方会
開催にあたって

第49回中国四国リハビリテーション医学研究会
第44回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会

会 長 和田 恵美子

近森リハビリテーション病院

令和元年となる記念の年に第49回中国四国リハビリテーション医学研究会ならびに第44回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会を高知で開催させていただきますことを大変光栄に感じています。本会開催にあたり多くの皆様にご支援をいただき、また39題の一般演題を応募いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

教育研修講演は浜松市リハビリテーション病院の藤島一郎病院長に「嚥下障害のトピックスおよび地域の連携について」と題し、病院と地域の嚥下障害の連携に関する話題と、畿央大学ニューロリハビリテーション研究センターの森岡周教授に「半側空間無視の病態メカニズムとリハビリテーション 特に歩行時に出現する症状の解釈」と題し、歩行時の半側空間無視が与える影響についての話題をご講演いただきます。

またランチョンセミナーでは「地域で展開するボツリヌス治療」と題し、病院を退院した後に問題となる痙縮への対応についてご講演いただきます。

第一線の先生方であり、皆様の診療に役立つものと確信しております。本会が皆様の今後のご活躍・ご発展の一助になり、また、交流の場となることを祈念し、高知で皆様とお会いできるのを楽しみにいたしております。是非、ご参加ください。

ご 案 内

1. 参加者の皆様へ

- 1) 当日は備え付けの参加登録票^{*}に必要事項を記入し、受付で参加手続きをしてください。
※参加登録票(PDF)は学会ホームページからも事前にダウンロードできます。
- 2) 受付にて参加費2,000円をお支払いの上、名札を受け取り、所属・氏名を記入し、必ず着用してください。名札のない方の入場はお断りいたします。
- 3) 地方会会員の方には受付で抄録集をお渡しします。研究会会員の方には事前に抄録集を配送しますので、抄録をご持参ください。抄録をお忘れの場合は、1冊500円にて販売させていただきます。
- 4) 各学会の研修単位申請を希望される方は受付にて手続きを行ってください。
- 5) 中国四国リハビリテーション医学会研究会に入会を希望される方は新入会受付にて手続きを行ってください(日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会の当日受付はありません)。
- 6) 学部学生(大学院生を含む)および専門学校生は参加費が免除になります。受付で学生証(身分証)を提示ください。

2. 演者の皆様へ

- 1) 発表時間は6分間、討論は3分間です。
- 2) プレゼンテーション用 PowerPoint スライドは、事前登録とします。学会当日の試写はありません。また、学会当日にはスライド変更は受け付けません。
- 3) 発表形式は Windows 版 Microsoft PowerPoint を用いた口述発表のみとします。スライドの種別は Windows 版 Microsoft PowerPoint 2013で再生可能なスライドで作成してください。また、機種依存文字は使用しないでください。Mac 版 Microsoft PowerPoint は対応できませんので、あらかじめご了承ください。スライドは標準画面(4:3)にて作成してください(ワイド画面16:9で作成された場合、ずれが生じる可能性があります)。
- 4) スライドショーでのスライド枚数に制限はありません。6分間の発表時間に収まるようご調整ください。
- 5) 作成されたプレゼンテーション用 PowerPoint スライドは、ファイル名を「氏名+地方会または研究会」としてください(例:リハ太郎_地方会)。
- 6) 上記のスライドのファイルは2019年11月15日(金)までに、本会のホームページの「演者の皆様へ」内の「アップロード」に入り、オンライン登録してください。なお、登録頂いたファイルは本会終了後に事務局が責任をもって消去します。

- 7) 登録されたスライドの変更は、2019年11月15日(金)までとさせていただきます。変更の際は、事務局(chikamoreireha@chikamori.com)にも連絡をお願い致します。期日以降のスライドの変更は受け付けません。
- 8) プレゼンテーション用スライドの動作不良があれば、事務局よりメールにて連絡いたします。修正をお願いしたスライドの最終締め切りは2019年11月22日(金)となります。期日以降のスライド変更は受け付けません。
- 9) リハビリテーション科専門医試験受験予定で、本地方会で演題発表され、「地方会発表証明書」をご希望のかたには、お渡ししますので事前に事務局へお知らせください。学会当日事務局受付で発表証明書をお渡します。
※地方会・研究会にて各一演題ずつ優秀演題を表彰いたします。優秀演題の発表者には表彰状と副賞5万円が贈呈されます。表彰式は発表会の次の総会時に行われます。

3. 座長の皆様へ

セッション開始10分前までに次座長席にお着きください。ご担当セッション内で活発な討議が行われるよう、お取り計らいください。

4. リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医の皆様へ

本会では、生涯研修単位(以下、カッコ内は日本専門医機構認定リハビリテーション科専門医の単位数)を、学会参加で10単位(1単位)、教育研修講演1、2で各10単位(1単位)、合計最大30単位(3単位)取得できます。また、地方会発表の筆頭演者はさらに年度末自己申請により1演題10単位(1単位)が取得できます。単位取得ご希望の方は、受付にて各講演1,000円をお支払いください。

5. 日本整形外科学会専門医の皆様へ

教育研修講演1、2の受講により教育研修単位各1単位取得できます。単位取得をご希望の方は、受付にて各講演1,000円をお支払いのうえ、各講演の開始時刻の前後10分間に、第1会場入り口付近の単位申請受付用コンピューターのカードリーダーに日整会会員カードを通して申請登録をしてください。日整会会員証カードを必ずご持参ください。

6. 作業療法士の皆様へ

日本作業療法士協会生涯教育基礎研修において、参加・発表で各1ポイントが取得できます。参加証や領収証のコピーを県士会総会時等に提示ください。

7. 言語聴覚士の皆様へ

日本言語聴覚士協会 生涯学習プログラムの参加1ポイントが取得できます。生涯学習プログラム終了申請の際に参加証や領収証(コピー可)を日本言語聴覚士協会事務所まで提出ください。

8. 理事会・幹事会のご案内

12時00分～13時00分 基礎・臨床研究棟会議室にて行います。役員の方は、教育研修講演1終了後に、基礎・臨床研究棟会議室にお集まりください。

9. 総会のご案内

13時10分までに第1会場(実習棟第2室)にお集まりください。

10. 駐車場について

お車でお越しの方は、会場の駐車場をご利用いただけます。
料金は、入庫後30分無料。1時間まで200円。以降30分毎100円。
当日24時まで最大料金500円となります。

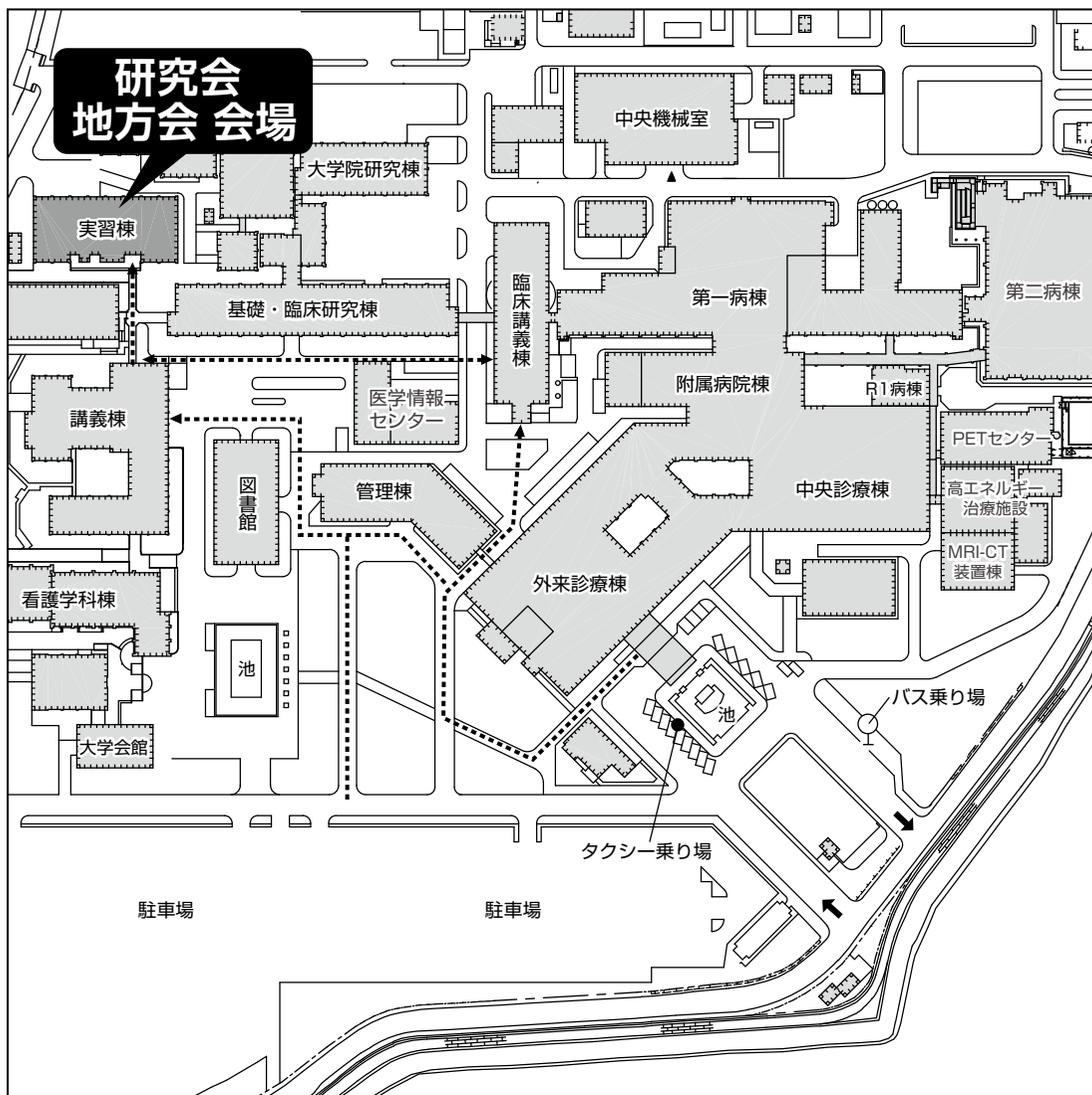
11. ランチョンセミナー

時間：12:00～13:00

場所：第1会場(実習棟第2室)

お弁当は先着順とさせていただきます。

会場案内図



A series of horizontal dashed lines for writing.

日 程 表

12月1日(日) 高知大学医学部

	第1会場 実習棟 第2室	第2会場 実習棟 第1室	基礎・臨床研究棟 会議室
8:30	8:30~ 受付		
9:00	8:55~ 開会挨拶		
	9:00~9:45 地方会1(01~05) 座長:宮本 寛	9:00~9:54 研究会1(16~21) 座長:片山 訓博	
10:00	9:50~10:35 地方会2(06~10) 座長:永野 靖典	10:00~10:45 研究会2(22~26) 座長:石川 裕治	
11:00	10:50~11:50 教育研修講演1 藤島 一郎 先生 座長:和田 恵美子		
12:00	12:00~13:00 ランチョンセミナー 勝谷 将史 先生 座長:中山 衣代 共催:グラクソ・スミスクライン株式会社		12:00~13:00 理事会・幹事会
13:00	13:10~13:40 総会・表彰式		
14:00	13:50~14:50 教育研修講演2 森岡 周 先生 座長:小笠原 正		
15:00	15:00~15:45 地方会3(11~15) 座長:野並 誠二	15:00~15:45 研究会3(27~31) 座長:前田 寛之	
16:00	15:50~16:26 研究会4(32~35) 座長:中島 美和	15:50~16:26 研究会5(36~39) 座長:寺田 千秀	
17:00	16:30~ 閉会挨拶		

プログラム

開会挨拶 8:55～9:00

第1会場(実習棟 第2室)

会長 和田 恵美子(近森リハビリテーション病院)

地方会1 9:00～9:45

第1会場(実習棟 第2室)

座長:宮本 寛(南国中央病院)

- 01** 当院での漢方薬使用の推移と傾向
近森リハビリテーション病院 リハビリテーション科 日浦 裕子 18
- 02** IT 通信を運用した運動指導・教育支援
嚥下機能向上、ロコモ・メタボ改善の実践とその意義
高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部 石田 健司 20
- 03** 介護予防事業を通じて行う地域に合った街作り
—縦糸と横糸の絆作りと介護予防の〈前・中・後段〉対策(9次予防構想)の提案—
高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部 石田 健司 22
- 04** 食道期の問題が摂食嚥下障害の一要因と考えられた症例の検討
香川県立中央病院 リハビリテーション部 小野 恭裕 24
- 05** 嚥下造影検査における正面像での食道期評価が有用であった2症例の検討
近森リハビリテーション病院 リハビリテーション科 青山 圭 26

地方会2 9:50～10:35

第1会場(実習棟 第2室)

座長:永野 靖典(高知大学医学部附属病院)

- 06** 先天性上腕切断・下肢変形の成長発達と義肢作成の経過
岡山大学病院 卒後臨床研修センター 尾崎 文 28
- 07** 労災による上肢切断者の義手の使用状況
—H24～H30年度の調査から—
吉備高原医療リハビリテーションセンター 濱田 全紀 30
- 08** MR 流体膝継手を搭載した長下肢装具の試作とそれを用いた症例報告
川崎医科大学リハビリテーション医学教室 佐藤 智史 32
- 09** 脊髄梗塞による対麻痺に対してウエルウォーク WW-1000を使用した1例
国立病院機構鳥取医療センター 脳神経内科 房安 恵美 34

10 関節鏡下腱板修復術後外転枕固定による肩甲上腕関節外転角度

JA 山口厚生連小郡第一総合病院 整形外科

油形 公則

36

教育研修講演 1 10:50～11:50

第1・2会場(実習棟)

座長：和田 恵美子(近森リハビリテーション病院)

〔嚥下障害のトピックスおよび地域の連携について〕

藤島 一郎 先生 浜松市リハビリテーション病院 病院長

ランチョンセミナー 12:00～13:00

第1会場(実習棟 第2室)

座長：座長：中山 衣代(近森リハビリテーション病院)

〔地域で展開するボツリヌス治療〕

勝谷 将史 先生 西宮協立リハビリテーション病院 リハビリテーション科

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

理事会・幹事会 12:00～13:00

基礎・臨床研究棟(会議室)

総会・表彰式 13:10～13:40

第1会場(実習棟 第2室)

教育研修講演 2 13:50～14:50

第1・2会場(実習棟)

座長：小笠原 正(近森リハビリテーション病院)

〔半側空間無視の病態メカニズムとリハビリテーション 特に歩行時に出現する症状の解釈〕

森岡 周 先生 畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター 教授

- 11 広範囲の劇症型 A 群β 溶連菌感染症症例における
リハビリテーション医療の経験
岡山大学病院 卒後臨床研修センター 濱崎 比果瑠 38
- 12 原因不明の胸髄出血で脊髄損傷となるも歩行器歩行で復学できた
15歳男子の1例
広島市立リハビリテーション病院 西田 康朗 40
- 13 難治性重症局所ジストニアに対する治療経験
高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部 永野 靖典 42
- 14 ITB 療法を施行した脳性麻痺児の1例
高知県立療育福祉センター 整形外科 三宮 奈穂 44
- 15 包括的教育を必要とする子どもに対する「IN-Child Record」の活用について
広島大学病院 リハビリテーション科 篠原 隼 46

- 16 ロコモティブシンドロームを呈した2型糖尿病患者の
身体機能とセルフケア行動の規定因子について
高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部 近藤 寛 48
- 17 在宅へ退院した肺炎患者の在院日数に関わる因子の検討
医療法人永島会 永井病院 谷岡 寿昭 50
- 18 腰部脊柱管狭窄症術前患者におけるダイナペニアおよび
サルコペニアの有無は術後の転倒発生に関連する
鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部 和田 崇 52
- 19 腰椎変性疾患を有するサルコペニアへの運動療法の介入効果の検討
浜脇整形外科リハビリセンター リハビリテーション科 梶原 康寛 54
- 20 人工膝関節置換術後患者と変形性膝関節症患者の
大腿四頭筋筋量・筋輝度の比較
鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部 橋田 勇紀 56

- 21 当院における腱板断裂術後の非再断裂群・再断裂群における
Shoulder36の比較
山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部 木村 真弓 58

研究会2 10:00～10:45 第2会場(実習棟 第1室)

座長：石川 裕治(高知リハビリテーション専門職大学)

- 22 脳卒中患者に対する発症後48時間以内の起立訓練は安全かつ
直接嚥下訓練開始までの期間を短縮させる
高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部 小川 真輝 60
- 23 Kinesio Taping[®]貼付が舌挙上運動時舌骨上筋群筋活動に及ぼす影響
高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部 矢野川 大輝 62
- 24 片側声帯麻痺患者における音声障害の自覚的評価と他覚的評価の関係
高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部 中平 真矢 64
- 25 両側頸静脈孔損傷による嚥下障害の一例
社会医療法人近森会 近森リハビリテーション病院 岩崎 雅子 66
- 26 経口摂取の可能性～慢性期でもあきらめない～
医療法人永島会 永井病院 リハビリテーション科 森山 佳蓉 68

研究会3 15:00～15:45 第2会場(実習棟 第1室)

座長：前田 寛之(高知大学医学部附属病院)

- 27 離床・集中治療室退室に難渋した生体部分肝移植症例の理学療法経験
山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部 上利 誠人 70
- 28 敗血症後に集中治療後症候群(PICS)を呈した患者への作業療法経験
～せん妄・抑うつ症状に対する介入～
川崎医科大学附属病院 リハビリテーションセンター 玉岡 美裕 72
- 29 高頻度反復性経頭蓋磁気刺激療法と認知運動課題による治療介入が
上肢機能の改善に至った急性期左片麻痺症例
医療法人新松田会 愛宕病院 リハビリテーション部 豊田 拓磨 74
- 30 急性期脳卒中患者の歩行の可否に対する体幹機能の関係性
愛宕病院 脳神経センターニューロリハビリテーション部門 佐々木 克尚 76

31 病態理解に拡散テンソル画像が有用であった一症例

高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部

山本 龍

78

研究会4 15:50～16:26

第1会場(実習棟 第2室)

座長：中島 美和(近森リハビリテーション病院)

32 当院における早期離床を行なった要介護認定心不全患者のADL変化

医療法人須崎会高陵病院 リハビリテーション部

徳重 和也

80

33 前期・後期高齢者の身体機能、注意・記憶機能、活動面の特性に関して

高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部

山本 貴裕

82

34 当院における @ATTENTION を用いた注意機能評価と運動FIMの関連について

社会医療法人近森会 近森リハビリテーション病院 作業療法科

小川 由美子

84

35 当院におけるノーリフティングケアの取り組み

医療法人須崎会高陵病院 リハビリテーション部

森下 浩充

86

研究会5 15:50～16:26

第2会場(実習棟 第1室)

座長：寺田 千秀(アマノリハビリテーション病院)

36 高知県立療育福祉センター リハビリテーション部事業紹介

高知県立療育福祉センター リハビリテーション部

中岡 民江

88

37 通所リハビリテーションの取り組みと今後の課題

永井病院通所リハビリテーション

福島 寿道

90

38 乳がん術後の肩関節拘縮患者に対する外来リハビリテーション

高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部

町田 佐和

92

39 化学療法後に薬剤性感覚障害のため歩行困難を呈した症例について

岡山大学病院 総合リハビリテーション部

西井 彩

94

閉会挨拶 16:30～

第1会場(実習棟 第2室)

会長 和田 恵美子(近森リハビリテーション病院)

Handwriting practice lines consisting of 25 horizontal dotted lines.

第49回中国四国リハビリテーション医学研究会
第44回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会
プログラム・抄録集

会 長：和田 恵美子

事務局：近森リハビリテーション病院
〒780-0843 高知県高知市廿代町2-22
TEL：088-822-5231 FAX：088-822-2075
E-mail：chikamorireha@chikamori.com

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>

